

## 「東海地方の多文化共生—子どもの教育支援を中心に」

松本一子（東海日本語ネットワーク）

### I. 地域の背景

1. 愛知県を中心とする東海地方は外国人集住都市が多い  
(資料参照：都道府県別外国人登録者数、愛知県の外国人登録者数の推移、愛知県内の日系人の多い市、外国人集住都市会議の会員都市データ、豊田市外国人統計)
  - ・外国人登録者数の総人口に占める割合が多い  
愛知県 (2.9%) 静岡県 (2.6%) 岐阜県 (2.6%)  
愛知県：知立市 (6.5%) 小牧市 (6.2%) 西尾市 (5.4%) 豊橋市 (5.3%) 豊田市 (3.9%)  
豊田市：保見団地 (48.2%、このうち 93.0%がブラジル人)
2. 日本語が話せなくても不自由しない環境のため、日本語学習が進まない
  - ・ブラジル食材店、ブラジルレストラン、ポルトガル語の新聞・衛星放送
  - ・通勤はマクロバスで送迎
  - ・ブラジル人学校 (愛知県内 18 校・豊田市内 4 校)、ポルトガル語塾、託児所が複数ある
3. 定住化が進んでいる
  - ・豊田市の公立学校外国籍児童生徒数の 77.2%が、5 年以上滞在 (H18.7 現在)

### II. 子どもたちを取り巻く状況

1. 親が子どもの教育を家庭でサポートする時間的、精神的余裕がない。また、親が日本の教科書が読めない
2. 日本の保育園や学校に通って滞在が長期化し、母語によるコミュニケーション能力が育たない
3. 日本語能力についても授業理解に困難を感じている場合が多い
4. 親子間のコミュニケーションが困難
  - 子どもの日本語能力・コミュニケーション能力を育てる必要性
  - 親が教育に関心をもち、子どもの教育の重要性を認識する必要性
  - 学校・NGO など、立場の異なる支援者の情報交換・連携の必要性

### 5. 地域のさまざまな活動

- 1) 愛知県国際交流協会「日本語教育リソースルーム」 開室：火・土 10 時～17 時
- 2) 放課後学習支援
  - ・「栄日本語指導教室」名古屋市教育館 土・日 14 時～17 時
  - ・ NPO 法人子どもの国「ゆめの木教室」豊田市保見団地公団第 2 集会所 月～金 14 時～18 時
  - ・「ふくらの家」江南市ふくらの家&江南団地第 2 集会所 火・木・金 15 時半～17 時半
- 3) 外国籍不就学の子ども支援
  - NPO 法人トルシーダ「CSN 教室」豊田市保見団地公団第 2 集会所 月～金 10 時～12 時

#### 4) 新1年生入学準備の子ども支援

日本語教室「ジャルディン」豊田市保見団地公団第2集会所 月・水・金 13時～14時半  
対象：幼稚園及び保育園に通っていない5～6歳児

#### 5) 親子日本語教室

フロンティアとよはし「緑ヶ丘教室」土 10時～12時 「多米教室」土 10時～11時半

#### 6) 子どもの教育支援と親の日本語学習支援

- ・「共生の会」西尾市緑町住宅集会室 第1・第3土曜 13時～15時
- ・NPO法人保見ヶ丘国際交流センター「保見ヶ丘日本語教室」保見団地公団第2集会所  
日 10時～12時

### Ⅲ. 豊田市での試み

#### 1. 平成14年度「保見ヶ丘ボランティア研修会—これからの地域づくり—」全11回実施

(日本財団の助成を受けて、NPO法人保見ヶ丘国際交流センターが主催)

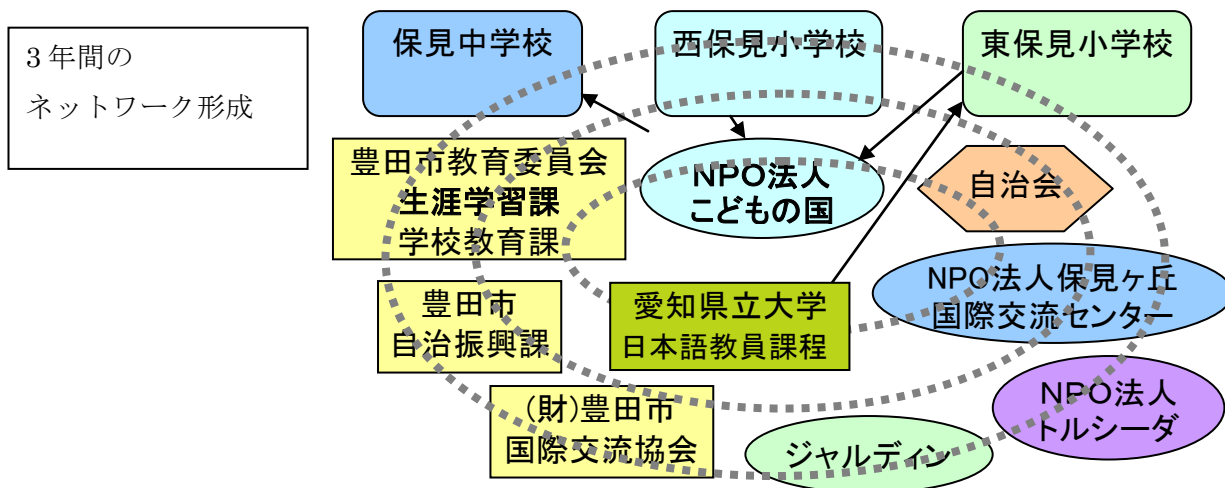
第3回目にシンポジウム「子どもの教育を考える—保見からの発信—」を開催

西保見小・東保見小・保見中の校長や教務主任がそれぞれの学校での取り組みや課題について直接地域住民に報告

#### 2. 平成14年度～平成16年度文化庁委嘱事業「親子参加型日本語教室」運営

- ・文化庁の事業であることの意義
- ・地域ネットワーク構築へ

平成14年度は教育委員会が事業の窓口となり、NPO法人子どもの国、NPO法人保見ヶ丘国際交流センターの関係者でスタート。平成15年度は西保見小学校校長、愛知県立大学教員が参加。平成16年度は教育委員会主導で実施委員長や会計担当者が各学校へ出向き積極的に働きかけて、東保見小学校校長、保見中学校校長、豊田市自治振興課、豊田市国際交流協会、NPO法人トルシーダ、ジャルディンも参加して、実施委員会で教育関係者が一堂に会することができた



・NPO 法人子どもの国は毎月学校と情報交換、愛知県立大学は西保見小にも学生ボランティア派遣、ジャルディンは就学時健診の際に未就園児へのサポートを呼びかけることができた。さらに、NPO 法人トルシーダは愛知県の委託事業「保見こどもの教育まるっとネット」事業で保見地区のブラジル人学校・ポルトガル語塾・アパートでの託児のそれぞれの受け入れ人数・教育内容などの実態を調べ、関係者による公立学校見学会や意見交換会を実施した

3. 平成 19 年度シンポジウム「保見の子どもたちの未来を考えるー外国人児童生徒とともに学ぶ中から生まれることー」を 3 回のプレセミナー「学校での取り組み」「子どもたちの声」「地域・保護者からの声」と共に開催

(主催：NPO 法人保見ヶ丘国際交流センター，NPO 法人トルシーダ，NPO 法人子どもの国)

(後援：豊田市，豊田市教育委員会，(財)豊田市国際交流協会，NHK名古屋放送局)

基調講演「子どもたちの未来を考える」 増田ユリヤ (教育ジャーナリスト)

パネルディスカッション「学校・保護者・地域が子どもたちのためにできること」

パネラー 子どもの声から：保見中の卒業生

学校から：東保見小、西保見小、保見中の校長先生

保護者の声から：日本人とブラジル人の保護者

地域の声から：地域住民と NPO ボランティア

#### IV. 今後の課題

教育委員会主導の教育ネットワーク構築

幼稚園・保育園や、ブラジル人学校とのネットワークも構築し、関係機関相互のネットワークを強化し拡充すること

#### <保見団地の子ども数の推移>

外国籍 / 総数	2002 年	2005 年	2008 年
保見中	69 / 485 (14.2%)	47 / 383 (12.3%)	74 / 345 (21.4%)
西保見小	55 / 275 (20.0%)	71 / 218 (32.6%)	108 / 198 (54.5%)
東保見小	97 / 398 (24.4%)	121 / 399 (30.3%)	118 / 466 (25.3%)

## <諸団体の紹介>

### 1. NPO 法人保見ヶ丘国際交流センター <<http://www.homigaoka.jp/>>

1998年11月に団地の集会所で大人のための日本語教室を開始。大人についてきた子どものために子どもクラスも開設。日本語教室を軸に、保見ヶ丘四自治区と共催で事業をおこない、地域に根ざした活動をしている。2002年12月NPO法人格を取得。2004年度より豊田市の委託事業「外国人に対する地域活動参加促進事業」を実施

### 2. NPO 法人子どもの国 <<http://www.kodomonokuni-aichi.org/>>

2000年3月 入学準備のための日本語教室を始める。引き続き学校の勉強を見てほしいという要望にこたえ、放課後学習支援をスタートさせる。2001年11月NPO法人格を取得。2002年より豊田市の委託事業「外国人青少年学習支援事業」を実施

### 3. NPO 法人トルシーダ <<http://www.geocities.jp/torcidaajpp/>>

1998年2月から、不就学の子や来日直後で進路が未定の子を対象に短期集中日本語講習を実施したことが、今の活動の基盤になっている。日本の学校に通っていない7歳から18歳までの子どものための日本語教室。2003年11月にNPO法人格を取得。2006年より豊田市の委託事業「外国人青少年健全育成事業」を実施

### 4. 東海日本語ネットワーク <<http://tnnwk.hp.infoseek.co.jp/>>

1993年12月18日、国立国語研究所が名古屋国際センターにおいて開催したシンポジウム「地域の外国人と日本語」をきっかけに、東海地域（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）を視野に活動するネットワークとして、94年6月の設立総会で正式に発足

- ・月例会の開催（活動に関する協議、情報交換）、月例会時に研修会を開催  
名古屋国際センター4階第3研修室 毎月第2土 1時半～5時
- ・「東海日本語ネットワークニュース」を年3回発行
- ・シンポジウムの開催（毎年12月、名古屋国際センターと共催）
- ・交流会の開催（総会時、シンポジウム時など）
- ・日本語教室調査（日本語教室リストをホームページに掲載）
- ・調査分析：ボランティアの活動状況・意識、学習者の状況・ニーズ、公的機関の多言語対応・日本語教育の状況に関するアンケート実施（99、2000年）、海外の言語サポート事情（2001年）
- ・シンポジウム報告書、活動報告書の作成・発行
- ・ホームページによる情報の発信・交換
- ・愛知県国際交流協会のリソースルーム設置（2000年）および運営に協力